



三種町

平成28年
2月1日 発行

第40号

議会だより



ことほ
「新春を寿ぐ三種町書き初め大会」

発行：三種町議会

編集：議会広報編集特別委員会

〒018-2401 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

もくじ

議長年頭所感	2
補正予算の内容、議案一覧	3
議案審議	4
一般質問（5人が登壇）	5～9
所管事務調査報告	10
臨時会、請願・陳情	11
町民と議会との懇談会報告	12～19
三種の星、編集後記	20

年頭所感



町民の皆様には、健康で希望に満ちた初春を迎えられましたことをお喜び申し上げます。

また、日頃より、町政の発展と議会運営に対しご理解とご協力をいただき深く感謝を申し上げます。

今日、国の内外ともに大きな変革の時期に遭遇しておりますが、地方行政におきましても、自己決定・自己責任による運営が求められるなど真価が問われる時代となっております。

国は地方創生を積極的に推進し、人口減少問題に取組んでいく事となり、それをうけて町は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し4つの基本目標と具体的施策を掲げ動きだしております。

厳しい状況であればこそ、目の前の現象を悲観的に捉えることなく、それぞれの立場において創意工夫をこらし、知恵を出し

三種町議会議長 金子芳継



合いながら、しっかりと取組む必要があると思います。

新年を契機に、議員一同、心を新たに、町民の皆様への負託とご期待に沿うべく、魅力あるまちづくりの実現をめざして努力してまいる所存です。

今年の干支は申さる。世界には180種類に及ぶサルがいるそうです。基本的に熱帯で生活する動物の中にあつて、ただ一種、日本の固有種であるニホンザルだけが厳冬の季節を耐え抜くことができると言われます。その生きる姿は、どんな環境でも耐え、努力する人に重なります。

「合併10周年」の節目の年は過去の経験を糧に心機一転、再出発のよい機会であると思えます。

町民の皆様、なお一層のご活躍と、ご健康を祈念いたしまして年頭のあいさつといたします。

本年もよろしく
お願い申し上げます

三種町議会

- 議長 金子芳継
- 副議長 加藤彦次郎
- 議員 大澤和雄
- 宮田幹保
- 安藤賢藏
- 三浦敦
- 清水欣也
- 工藤秀明
- 高橋満
- 石井秀基
- 鈴木一幸
- 小澤高道
- 成田光一
- 後藤栄美子
- 堺谷直樹
- 伊藤千作
- 平賀真
- 児玉信長

(議席順)

ふるさと納税、大幅アップ!

平成27年12月定例会 補正予算の内容

会計名	補正前の予算総額	追加補正額	補正後の予算総額		
●一般会計	112億6,373万9千円	2億 408万5千円	114億6,782万4千円		
【主な歳出】					
事業内容	事業費	財源			
		国	県	町	
クアオルト促進事業（モニターツアーへの助成等）	490万 円	458万 円		32万 円	
ふるさと納税の寄附に対する謝礼とシステム利用料	3,356万9千円			3,356万9千円	
定住対策費（空き家利活用のための改修費、シェアハウス改修、ふるさと体験ツアー補助等）	245万7千円		243万 円	2万7千円	
新規農業法人設立に伴う農地中間管理機構集積協力金	2,250万8千円		2,250万8千円		
除雪に関する燃料費、業務委託料	8,400万 円			8,400万 円	
小学校管理費（森岳小学校防火施設改修費等）	210万 円			210万 円	
ふるさと納税に伴うふるさと元気づくり基金積立金	4,660万 円			4,660万 円	

●特別会計

会計名	補正前の予算総額	補正額	補正後の予算総額
国民健康保険事業勘定特別会計	28億3,438万2千円	△2,735万2千円	28億 703万 円
後期高齢者医療特別会計	1億6,974万 円	118万2千円	1億7,092万2千円
農業集落排水事業特別会計	1億6,365万7千円	156万8千円	1億6,522万5千円
介護保険事業勘定特別会計	28億 689万9千円	10万 円	28億 699万9千円
介護サービス事業勘定特別会計	3,040万5千円	10万 円	3,050万5千円

●水道事業会計

区分	補正前の予算総額	補正額	補正後の予算総額
収益的支出	1億5,221万5千円	148万5千円	1億5,370万 円
資本的支出	7,845万4千円	130万 円	7,975万4千円

報告	指定管理者の制定	その他					条例の制定・改正										平成27年度予算										区分	審議された議案一覧
		町道路線の認定	町道路線の廃止	能代市との定住自立圏の形成に関する協定の締結	能代市山本郡養護老人ホーム組合規約の一部変更	指定管理者の指定について（八竜健康保養施設・八竜総合交流ターミナル施設）	指定管理者の指定について（八竜多目的健康広場）	入湯税条例の一部を改正する条例の一部改正	町税条例等の一部を改正する条例の一部改正	関する条例の一部改正	半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正	印鑑条例の一部改正	個人番号の利用に関する条例の制定	水道事業会計予算の補正	介護サービス事業勘定特別会計予算の補正	介護保険事業勘定特別会計予算の補正	農業集落排水事業特別会計予算の補正	公共下水道事業特別会計予算の補正	後期高齢者医療特別会計予算の補正	国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正	一般会計予算の補正	国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正	一般会計予算の補正					
-	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	賛成	採決 状況	
-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	反対		
報告	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果		

※議長は採決に加わりません。

議案審議

一般会計予算の補正

問 三種町誕生10周年記念看板設置に関する予算として59万7千円が計上されているが、どのような看板で設置時期はいつなのか。

答 本庁舎、山本・琴丘両総合支所の玄関に看板を設置する。設置時期は合併した3月20日からである。

問 合併10周年の記念となる看板で、あるため、事務的なものではなく、キャッチフレーズを入れるなど、明るいイメージを放つような看板にすべきである。

答 10周年の記念のマークとキャッチフレーズを入れる予定である。



合併10周年記念マークとキャッチフレーズ

問 教育費の修繕料210万円の詳細は。

答 森岳小学校防火シャッター修繕料175万円と琴丘小学校漏水修理費35万円である。

問 高性能林業機械導入事業補助金134万8千円は、どこに交付するのか。また、この機械はどういう機械で価格はいくらなのか。

答 この機械は、従来チェーンソーで行っていた立木の伐倒・枝払い・玉切りの各作業と玉切りした木材の集積作業を一貫して行う自走式機械である。作業員の高齢化に対応する白神森林組合の事業に対する補助金であり、事業費は2千754万円である。

問 クアオルトモニターツアー助成金420万円の詳細は。

答 町内企業に勤務している方々を対象にストレスチェックを狙いとした日帰りコース。

県内の報道機関と旅行関係者に参加してもらいアドバイスをいただく1泊2日コース。県外や首都圏の町と関連ある企業が、福利厚生事業にクアオルトを実践してもらう2泊3日コースなどを



クアオルトに汗を流す参加者

対象に助成する予定である。

問 ふるさと納税は11月末現在で約5千300件、納税額で6千600万円となっており、それに対して謝礼として2千691万6千円の補正予算となっているが、今年度の納税額は昨年と比べても突出して伸びている。6段階ある返礼コースで一番多いのは何か。

答 納税額で件数が一番多いのは1万円から1万5千円の段階で、返礼品の中では肉類が圧倒的に多い。

問 ふるさと体験ツアー補助金100万円を補正しているが、実施時期と予定人数は何人なのか。また、複数回参加している人には、定住してもらうために、情報を送信するなど手厚い対応をすべきである。

答 首都圏からの体験ツアーを呼び込む形を想定しており、1人5万円の20名で計画している。定住については簡単には答を出せない方が大半である。

問 地域雇用創出推進事業費補助金300万円が追加補正されており、活発に利用されているようである。この事業内の新規雇用奨励事業と店舗等増改築事業、機械設備投資事業は、どのような状況になっているのか。

答 平成27年度は新規雇用奨励事業により、雇用が164人増えている。また、店舗等増改築事業ではエアコン修理やフロアの張替えなどが行われ、機械設備投資事業では建設会社の重機、縫製会社の大型ミシン、製麺所の製麺機、タンクローリーや介護車輛の整備など、補助金は幅広い業者に活用されている。

平成28年度予算には農業予算の十分な配分を ～中小規模農家への支援を強化せよ～

町長 農業夢プラン補助金の拡充を検討する



清水 欣也 議員

清水 国は、TPP交渉の大筋合意を受け、農業の保護や成長促進、工業の振興など各分野にまたがる政策大綱を発表した。県も、農業対策本部やTPP農業対策県民会議を設置し、独自支援策の検討をすることになっている。私達の町でも、このような国や県の動きを受け、三種町独自の対応を検討する手立てを考えるべきではないか。

町長 農業対策は多岐にわたっており、その関係予算には多種多様な補助金が配分されている。また、各種の協議会がそれぞれの分野に分かれて設置されているなど、施策全体が多方面にわたっている。TPP問題を一つの契機にして、これら町の農業全体を見直すというのほぜひ必要なことだと考えてお



活発な議論が望まれる農業

り、これからの農業についてもっと活発な議論をする場があってもよいのではと思っている。対策本部の設置については、即断できないが今後検討していきたい。

中小規模農家支援策を強化せよ

町長 来年度予算の中で検討する

清水 最近の農業対策は、国も県もわが町も担い手等の大規模農家の育成にシフトしてきている。しかし、現実に、農作物の販売によって家庭経済を維持している中小規模農家は多数いるのであり、これらの農家を切り捨てて地方創

生も人口減少対策もあり得ない。中小規模農家の支援については、町の総合戦略にも位置づけられたほか、産業建設常任委員会でもさまざまな機会をとらえて要望してきている。

来年度予算には、中小規模農家への支援を強化するための思い切った対策を盛り込むべきであると思うがどうか。

町長 本町の経済構造は、商工業も重要な位置を占めているが、地域経済の活性化のためには、やはり基幹産業である農業経済が豊かになり、農家所得が増えなければならぬというところは、十分承知をしている。

中小規模農家支援対策については、所得や規模の要件が設けられていない補助金も数多く予算化されており、規模の大小に関係なく幅広く支援しているということを理解していただきたい。なお、畑作物には可能性

がまだまだあると思うので、これからは、米作から畑作へという流れを促進させていきたいと考えており、来年度予算の中で、中小の農家を対象にした施策を検討したいと考えている。

農業夢プラン支援事業補助金の拡充を

町長 前向きに検討する

清水 県の事業である農業夢プラン支援事業と同じような内容で、中小規模農家を対象とした町単独の補助金を設けてはどうか。また、県補助金の農業夢プラン支援事業補助金の補助率を、現在、県3分の1、町6分の1、農家2分の1、となっている負担割合を、県3分の1、町3分の1、農家3分の1に見直しし、農家の負担軽減を図ってはどうか。

町長 この提案に関しては、私の考えと重なるところがあるので、前向きに検討させてもらいたい。

職員のコンプライアンス教育と防止策は十分か

町長 法令遵守の意識喚起を図る



石井 秀基 議員

石井

県内の市職員による、税金着服事件や汚職事件が多発している。男鹿市では税務課職員による税金の着服事件、仙北市では市民生活課職員による一般廃棄物最終処分場管理業務をめぐる贈収賄事件があり、市民に多大な迷惑をかけているところだが、当町のこれらのコンプライアンス教育と防止策は十分か。

町長

本町の取組みとして、職員による違法行為や職員の不注意等に起因する事務処理ミスなどの不祥事を防止する目的で、平成25年2月に「三種町コンプライアンス行動指針」を作成している。この中では、町職員の服務義務や公務員倫理、あるいは業者等の利害関係者とのかわり方などにまついてまとめた「コンプライアンス推進マニュアル」を作成して、臨時や非

常勤職員を含めた全職員に対し研修を義務づけ、コンプライアンス向上の意識喚起を図っているところである。

石井

仙北市は事件発生後不正防止策として随意契約時におけるガイドラインを作成したということだが当町では策定しないのか。

総務課長

本町には財務規定で規定されているためガイドラインを策定する予定はない。

高齢者（認知症）の徘徊などの防止策は

町長 先進事例の検証とあわせ、検討が必要

石井

町内で高齢者による徘徊や行方不明による捜索があった。全国的にも認知症の高齢者による徘徊が深刻化している。家族も本人が認知症だと気づかないまま、ある日突然姿を消し行方不明になるケースが増えているという。早期に見つからない場合その捜

索は消防、警察、地域の方々による大がかりなものになる。人命第一の観点から、当町の認知症の現状と防止策はどうなっているのか。

町長

平成26年度で介護認定を受けている1千518人のうち、ランク2段階以上の認知症とされた方は1千151人で、全体の75.8パーセントを占めている。ここ数年の傾向としては、認知症の方の人数、割合とも増える状況にある。地域包括支援センターが中心となって各自治会、団体で、介護保険や介護予防についての講座や学習会を開催しており、その中で認知症への理解と対応について呼びかけているほか、家族介護者交流会においても、話し合いと交流を深めている。

石井

他町でも行っているように、徘徊によって行方がわからなくなった方をできるだけ早く家族のもとへお返しするGPS探査システムなど、地域全体による見守りネットを構築してはどうか。

福祉課長

GPS探査を含め、より効果的で、多くの方が利用できるものを、先進地を検証しながら検討していきたいと考えている。



認知症予防のための脳きらきら教室

農業所得向上の取組みは

町長 規模の大小にかかわらず農家支援を行う



成田 光一 議員

成田 「三種町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で農業所得の向上にどう取り組むのか。

町長 TPPにより農家の意欲が削がれることのないように、規模の大小に関わらず農家を支援し、農業意欲を喚起することで所得向上に取り組む。

成田 TPPの大筋合意による不安解消のため、有識者を招いての講演会を開くとか、ディスプレイショウの場を設けてはどうか。

町長 早めの対応が必要で、生産から販売までの幅広い分野で専門家による講演会や勉強会を実施する際の支援をする。

中小企業の経営支援策は

町長 現行の支援策を維持する

成田 中小企業の経営支援にどのように取組もうとしているのか。

町長 中小企業幹旋利子補給事業と、地域雇用創出推進事業の継続と拡充を柱として実施していく。

成田 地元企業との膝を交えての意見交換の場を設けてはどうか。

町長 商工会と共催で「三種町企業異業種交流会」という名称で地元企業との意見交換の場を設ける予定にしている。

移住定住体験ツアーの状況は

町長 体験ツアー参加者は農業に関心あり

成田 移住定住体験ツアーの実施で、これまでに何人の方が移住している

か。また、今年度のツアーの状況はどうか。

町長 移住者数は19人である。また、体験ツアーは今年度は9回実施し、延べ38人が参加しており、そのほとんどが農業や農産物販売に関心を持っている方である。

成田 体験ツアー参加者に対しては、ゆうぱるを利用した1泊2日とか、移住を強く希望する方には2〜4週間とかのお試し移住体験ツアーを企画してはどうか。

町長 体験ツアーは2泊3日を基本としており、



移住定住体験ツアー

参加者にはその中でさまざまな体験をしていただいている。

長期滞在希望者には空き家のシェアハウスを考えている。

学校教育及び生涯教育の方向性は

教育長 今後、基本目標を定める

成田 平成27年4月1日から改正教育行政法が施行されているが、今後どのように取組もうとしているのか。

教育長 町長と教育委員で会議を2回開催した。主に首長が策定する町の教育大綱をどのような内容にするのか意見交換をしている。今後、町の総合計画との整合性を図りながら、基本目標を定め、内容を検討していくことになる。

表示と異なる肥料販売による農家への影響は

町長 補償が着実に進められるよう注視していく



大澤 和雄 議員

大澤 秋田市にある肥料業者の製造した肥料に、成分表示と異なるものが判明した。

同社の肥料は、約7割が有機入り配合肥料であり、有機栽培に使用されているが、「特別栽培農産物、有機農産物」と表示して販売するとJAS規格に適合しない可能性があるとして、JA全農は慣行栽培農産物として出荷販売するよう要請した。

町内でも特別栽培米を生産している農家がいると伺っており、価格や今後の補償問題等、さまざまな影響があるのではと懸念している。現在の状況や今後の対応は。

町長 肥料の偽装問題にかかわるJA秋田やまもと農協の三種町内の対応については、対象商品数は43品目で、11月12日から問

題の肥料の回収を開始している。

県認証の特別栽培米は、約1万6千俵となっており、今回の件で慣行栽培米として取り扱わざるを得なくなる数量は約1万5千俵となっている。補償については今後全農秋田から具体案が示されるとの報告を受けている。

町としては、補償が着実に進められることで農家や消費者に不利益が発生しないよう、注意して見ていきたい。

マイナンバー制度への対応は

町長 適切に対処していく

大澤 2016年1月から、社会保障、税などの

手続きの際、マイナンバーの提示を求められる。自己への直接的なメリットが乏しい納税や住民登録はともかく、雇用保険や医療保険、年金、生活保護、児童手当など、福祉の給付といった場面ではマイナンバーを提示できなければ面倒や不利

平成27年10月

大切に保管してください

マイナンバー（個人番号）のお知らせ

個人番号カード交付申請のご案内

お届けします、マイナンバー（個人番号）

- あなたの「マイナンバー」と「通知カード」です...1
- 大切にしていね「マイナンバー」と「通知カード」...1
- よりよい暮らしへ「マイナンバー制度」...2

申請してね、個人番号カード

- あなたの「個人番号カード」が申請できます...3
- 「メリット」いっぱい「個人番号カード」...3
- とっても便利「コンビニ交付サービス」...4
- 広がる使いみち「電子証明書」...4
- 「セキュリティ」もしっかり「個人番号カード」...4
- さあ、申請しましょう...5
- いよいよ、受け取りに行きましょう...7

総務省・地方公共団体情報システム機構（J-LIS）
Japan Agency for Local Authority Information Systems

地方公共団体情報システム機構（J-LIS）とは、都道府県・市区町村が共同して運営する組織です。
本件は、J-LISが全国の市区町村長から委任を受けて実施しています。

マイナンバー制度のお知らせ

益を強いられると予想されているが、町民や町内企業への周知はどのようになっているのか。

また、個人情報保護の面で情報漏えい等が危惧されているが、今後どのように管理、運営していくのか。

また、個人情報漏洩防止については、パスワードの設定や施錠管理を徹底する。運用については、厳密な本人確認を行い、国の方針や指導に従い、適切な対応に努めていきたい。

町長 町としては、マイナンバー制度の内容を

広報みたね7月号で掲載しているほか、9月号から12月号でもお知らせしており、概ね理解が得られていると認識しているが、町内中小企業については、まだ理解が深まっていないよう

この他に「TPP大筋合意による町農業生産への影響と今後の対応」について質問しました。

高校卒業まで医療費、保育料、給食費の完全無料化を

町長 要望実現に向けて取組んで行く



伊藤 千作 議員

伊藤 今、子育て世帯の暮らしが非常に厳しくなっている。教育費や子育てにも大変お金がかかる。町としては、子ども達を育ててみたいと思えるような子育て応援のまちづくりを進めることで、人口減対策につなげていったらどうか。

町では、これまでも子どもの医療費を中学校卒業まで無料化し、県内で先進の役割を果たしてきたが、これを高校卒業まで医療費無料化とするところまで踏み出したらどうか。

町長 町は平成24年から、中学校卒業までの医療費の無料化を実施してきた。ここへきて県も平成28年8月から子どもの医療費助成対象を中学生まで拡大させる方針である。町としては、さらにこれ

伊藤 保育料について、各地の先進例に学んで無料化を検討していくべきだと思う。

また、給食費は、当町は現在、第1子から第2子まで半額補助、第3子は無料となっているが、完全無料

健康推進課長 8月から実施できるように進めていく。

に上乗せし、高校卒業までの医療費無料化の実現に向けて取組んでいくことになっている。



森岳保育園 もちつき会

町長 保育料については、県は平成28年度から第3子以降の子どもが誕生した場合、第2子以降の保育料を無料化する方針である。

町としても来年度以降子育て支援をさらに拡充して、第2子以降の保育料は所得制限を設けず、無料化したいと考えている。

給食費の完全無料化については、今後町の財政状況を勘案しながら十分検討するとともに、他より効果的

化に踏み出したらどうか。

自治体臨時非常勤職員の労働条件の改善を

町長 4月から改善を図ってきた

な子育て支援の推進に努めるための支援策の拡充など、総合的な取組みを行っている。と考えている。

伊藤 地方自治体の臨時や非常勤職員は、正規職員と同じ仕事をしているにもかかわらず、低賃金で雇用も不安定であり、各種手当も支給されていない。これを改善するため、2014年7月に総務省から通知が出されているが、その取り組みはどうなっているか。

町長 4月より待遇面の改善を図ってきた。

保育士、栄養士、調理師といった国家資格が必要な職種を中心に、賃金の引き上げを行ったほか、保育士等の一部職種については、日給制から月給制に切り替え、収入の安定を図っている。

学校施設等の調査を実施

■ 教育民生常任委員会 所管事務調査報告

平成27年11月16日に教育民生常任委員会により所管事務調査が行われ、琴丘小学校と下岩川小学校を現場視察しました。

琴丘小学校体育館施設改修工事

琴丘小学校の体育館施設改修工事は工期が平成27年12月25日までであるが、工事は順調に推移していた。

工事概要は、外壁・鋼鉄建具、内装、床の改修と窓枠サッシの取り替えであった。窓枠サッシの取り替えについては、窓をカバーしていた格子を撤去し、強化ガラスに取り替えるというものであり、かねてから懸念されていた体育館内の暗さは、今回の改修工事で大幅に改善されるものと思われる。



改修工事中の琴丘小体育館

琴丘小学校体育館照明工事

琴丘小学校の体育館照明工事は工期が平成28年1月29日までであるが、工事は順調に推移していた。

工事概要は、現在の照明器具を落

下防止付きのLED電球に取り替える内容である。内外装の改修工事に加え照明器具もLED電球に取り替えることから、さらに体育館内の明るさが保たれることが期待される。

下岩川小学校校舎外壁改修工事

下岩川小学校の外壁改修工事は工期が平成28年1月29日までである。工事概要は校舎正面玄関外壁のひび割れ・欠損部分の補修であり、工事は順調に推移していた。

付帯意見

今回の視察で、琴丘小学校の野球場バックネットの老朽化と水はけが悪いグラウンドが目にとまった。どちらも整備が必要と思われる、保護者

からの要望もあるので、今後、調査・改修が必要と思われる。
また、下岩川小学校については、正面玄関の前に舗装がはがれた穴が数箇所あった。児童の安全を確保するため、舗装の補修が必要と思われる。



下岩川小校長より説明を受ける教育民生常任委員会

第3回

臨時会

日時：平成27年10月15日(木)

第3回臨時会が10月15日に開催され、工事請負契約議案1件を否決、3議案を原案のとおり可決決定しました。

- 山本農林産物展示販売施設の設置及び管理運営に関する条例の一部改正

原案可決

- 琴丘農林水産物直売供給施設の設置及び管理運営に関する条例の一部改正

原案可決

- 温泉供給許可について

原案可決

- 工事請負契約の締結(ゆめろん改修工事)

否決

第4回

臨時会

日時：平成27年12月25日(金)

第4回臨時会が12月25日に開催され、6議案を原案のとおり可決決定しました。

- 工事請負契約の締結(ゆめろん改修工事)

原案可決

- 平成27年度公共下水道事業特別会計への繰入

原案可決

- 平成27年度農業集落排水事業特別会計への繰入

原案可決

- 平成27年度一般会計予算の補正

原案可決

- 平成27年度公共下水道事業特別会計予算の補正

原案可決

- 平成27年度農業集落排水事業特別会計予算の補正

原案可決

請願

陳情

審査報告

請願2件と陳情3件は次のとおり付託委員会で審議され、本会議で請願1件を趣旨採択・1件を採択とし、陳情2件を採択・1件を継続審査と決定しました。

請願

件名	請願者氏名	紹介議員	付託委員会	結果
安全保障関連2法案(国際平和支援法案、平和安全法制整備法案)の廃案を求める意見書採択に関する請願書	平和で豊かな能代をつくる市民懇話会 代表世話人 吉田 瑞穂	伊藤 千作 大澤 和雄	総務 常任委員会	趣旨採択
TPP交渉に関する請願	農民運動秋田県連合会 委員長 鈴木万喜夫	伊藤 千作 大澤 和雄	産業建設 常任委員会	採 択

陳情

件名	陳情者氏名	付託委員会	結果
必要な医療・介護がうけられ、安心して暮らせる年金制度など「社会保障の充実を国に求める」意見書提出の陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	教育民生常任委員会	採 択
「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」の意見書を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 泉谷みどり	教育民生常任委員会	採 択
学校薬剤師の報酬改善についての陳情書	一般社団法人 秋田県薬剤師会 会長 大越 英雄	教育民生常任委員会	継続審査

町民との意見交換を実施

第2回 町民と議会との懇談会報告



上岩川生活改善センター

三種町議会が昨年から開催している「町民と議会との懇談会」が11月4日から3日間にわたって町内9カ所で開かれ、58人の住民が参加しました。

ここでは、懇談会の中で出された意見や提言に対する議会と町からの回答について報告します。

琴丘地域

クアオルト事業

町民 クアオルトの事業が良くわからないので、目的を教えてください。

議会 クアオルトの実践を通じて病気になるようなように自己管理をすることがねらいである。

医療費を下げることを最終目的にしている。

町民 温泉のPRはされているが、医療費の削減が目標であることは良く理解されていないのでPRの仕方を考えるべきだ。

また、森岳温泉をもっと活用してほしい。

議会 クアオルトは健康維持増進のために取組んでいる事業なので、町民の皆さんにもっと参加してもらいたい。

森岳温泉を活用することと、医療費の削減を目標とすることをもちとPRするように当局に伝えることにする。

町からの回答 町民が「み

たね型クアオルト」に取組むことにより健康意識が向上し、さまざまな生活習慣が改善され、その結果として将来的に医療費等の抑制につながる。最終的には、若い世代の負担軽減に結びつくものと確信している。

このことから、今後は、さらに普及啓発活動を行っていくので、ご理解ご協力をお願いする。

また、森岳温泉は、これまでも入浴、昼食等で活用しているが、今後は、町外からの利用者を対象とした、ヘルスツーリズムによる滞在型のセットプランを企画し、その活用を図っていく。

町民 クアオルトに参加するときに、集合地点に行くのが大変なので、身近で運動ができるように考えるべきだ。

議会 善処するよう当局に伝えることにする。

町からの回答 今後、クアオルト研究機構からコースが認定された場合やクアオルト運動教室を開催する場

合は、巡回バス等の運行を考えている。

また、要望があれば、各集落に簡易なウォーキングコースを作り、普及を図っていきたいと考えている。

残存湖の浚渫

町民 鯉川の河口の浚渫だけでなく残存湖全体の浚渫が必要ではないか。

干拓以来実施したことがあるのか。

議会 実施したことはない。鯉川地区の河口の浚渫を県に相談しており、12月頃から取りかかる予定である。

町の総合戦略

町民 町は、総合戦略を進めることにしているようだが、内容を分かりやすくしてほしい。

また、人口減少対策は、町にまかせないで、議員で提案してほしい。

議会 総合戦略や人口減少対策については当局からの説明はあったが、今後も取り組みの進捗状況を随時報告するように伝えてある。

五郎文庫

町民 五郎文庫への予算について議会であまり良く思わないような質問があったように感じているが、議員の皆さんに理解をしてほしい。

議会 五郎文庫には良い評価がなされていると思う。これは、地域の人がさまざまな活動を実践していることの表れであると思う。

森林整備

町民 町の予算の中に森林の保全に関する事業があまり見られないが、森林整備にもっと力を入れてほしい。特に林道整備を進めてほしい。そうすれば、個人でも下刈をするようになり、整備が進むと思う。

議会 確かに予算は少ないので、当局に提言をすることにする。

また、県の予算をうまく活用すべきと思っている。

地方創生への取組み

町民 地方創生に向け、町ではどう取組むのか。

議会 ささまざまな課題があるが、そのうちで農業ではじゅんさいを目玉に据えて取組むことになると思う。

町民バスの有効利用

町民 路線バスを見直して、町民バスを有効利用したら利用者が増えるのではないか。

議会 当局に検討を依頼する。

町からの回答

路線バスの見直しについては、路線バスが運行されているところは、町民バスが走れないという決まりもあることから、町のみ判断でできないため簡単ではないが、今後とも、関係者と十分な話し合いを重ねていきたいと考えている。

議員定数

町民 次回の改選時には議員定数を減らすのか。

議会 人口減にあわせ、議論されるものと思う。

当局の議会答弁

町民 議会で傍聴していても当局側の答弁が聞こえないので、改善をしてほしい。

議会 議会事務局を通じて当局に改善を要望することにする。

クアオルト事業

町民 クアオルト推進室に職員は何名いるか。

議会 専任職員2名、併任職員1名、支援員として地域おこし協力隊の2名である。

ゆめろん改修工事

町民 ゆめろんにはプールは設置されるのか。

議会 歩行型のプールを設置する予定である。

町民 ゆめろんとさざなみ苑の入館料はどうなるのか。

議会 入館料については当局において試算中である。

町民 ゆめろん改修工事費の財源内訳は。

議会 県の未来づくり交付金が2億円、残りは過疎債

で対応することになっていく。

町民 ゆめろんがクアオルトの拠点となった経緯は。

議会 理由の一つとして、ゆめろんの改修費の財源として未来づくり交付金2億円を県から受けるためには、クアオルトの拠点をゆめろんに置くことにした方が交付を受けやすいという事情もあったと思う。

町民 ゆめろんの将来的な採算性はどうか。

議会 当局の試算ではプラスの見込みになるとしている。

町民 ゆめろんより泉質の豊かな森岳温泉を開発発展させることが先ではないか。

議会 同様の意見を持っている人がいるのも事実である。

町民 ゆめろんより泉質の豊かな森岳温泉を開発発展させることが先ではないか。

議会 同様の意見を持っている人がいるのも事実である。

町民バス

町民 上岩川地区の町民バスを土日も運行して欲しい。

議会 当局によると、町民

バスは公共機関や病院に行くためのものであり、土日は運行していない。

研修バス

町民 研修バスの利用目的をもっと広げられないか。

議会 担当課に伝えることにする。

町からの回答 市町村が保有する自家用バスの使用については、道路運送法により次の事が禁止されている。

- 運送に対して報酬、実費などを徴収する「有償」での使用
- 有償、無償にかかわらず次のような使用範囲を超えた運送
- ・その市町村自ら主催、後援する行事や事業以外での使用
- ・市町村が管理する施設等への送迎で、最寄りの駅またはバス停留所等を超える場所への送迎

これらに基づき、三種町バス運行規程が定められているので、今以上の利用範囲は広げられない。

集落名看板

町民 集落名の看板を設置して欲しい。

議会 自治会からの要望として当局に相談した方がよい。

房住山

町民 登山道の刈り払いをしっかりとやって欲しい。

議会 担当課に伝えることにする。

町からの回答 最初の刈り払いを山開きに合わせて実施し、それ以降は状況を見ながら行っている。房住山には年間を通して登山者が訪れるので、今後も適切な対応をしていく。

除雪

町民 除雪のやり方が悪い。地域の道路事情に詳しい地元のおペレーターを配置してほしい。

議会 担当課に伝えることにする。

町からの回答 除雪については、業者等への一括委託と町の除雪機械を貸与したオペレーターと委託して行

う場合があり、後者の場合は一般募集した人と契約することになるため、地域ごとのオペレーター確保は難しく、委託したオペレーターから経験を積んでもらい地域の道路事情を習熟してもらっている状態であるので、地域のご理解をお願いする。

消防団

町民 機能別団員にも手袋やハンテンの支給をお願いしたい。

議会 担当課に伝えることにする。

町からの回答 手袋は今年度中に支給の予定であり、ハンテンについても平成28年度に支給したいと考えている。

その他の質問・意見など

- 元気づくり支援事業の助成金には、古い祭りにも予算を付けるべきだ。
- 全自治会で共通する事業については、町で実施すべきだ。例えば、赤い羽根共同募金のような集金

業務は従事する人がいなくなってきた。

● 職員教育について、自分達で率先して勉強をするなどして、資質を高めてほしい。

総合戦略では、重点項目を設け、かつ独自性を発揮してほしい。

● ゆめろん改修工事の問題は、入札のあり方が問題なのではないか。

入札のあり方を議会でもしっかり審議してほしい。

山本地区

ペレットストーブ

町民 ペレットストーブの補助があるがストーブの値段はいくらか。

議会 相場は20〜30万円である。

ゴミ捨て問題

町民 蛭沢集落にごみが捨てられている。何とかならないか。

議会 調査して対応するよ

うに当局へ伝える。

町からの回答 蛭沢地区を巡回している不法投棄監視員が看板を設置するとともに、不法投棄ゴミの処理をしている。

三種川河川改修

町民 三種川河川改修について町ではどう関わっているのか。

また、改修は登記の問題もあるので積極的に仲介してほしい。

議会 河川改修は県の事業であり、計画では、総額32億円で5年間の事業である。河川改修に伴う登記の問題があるのは承知しているので、町で仲介の労をとるよう伝えることにする。

町からの回答 町では三種川河川改修促進協議会を設立し、毎年、国・県の関係機関等に早期改修の要望活動を行うとともに、県と連携を取りながら改修や維持管理事業に取り組んでいる。また、県が平成25年度に策定した20年期間での河川整備計画もスタートして

いる。さらに、今年度からは家屋浸水被害の早期解消に向けた床上浸水対策特別緊急事業も5ヶ年計画で採択されており、町ではこれらの事業に伴う調査や立会等に協力している。さらに、登記関係についても円滑な事業推進に向けた対応を取っているので、地元関係者の方々にも事業へのさらなるご協力をお願いしたい。

空き小屋問題

町民 外の沢集落の町道の横に空き小屋があり、風が強いと小屋のトタン等が飛び危険である。

役場から所有者に話をしてくれとお願いしているが対応してくれない。何とかならないか。

議会 担当課に連絡をして確認させる。

町からの回答 対象物件は現地確認しており、建物の規模が比較的小さいことと非住家であるため、役場が立ち入る前に所有者または地域において解決していた



山本公民館

だきたい旨を依頼したものであるが、このことについては、改めて自治会長にお願いすることにした。

見通しの悪い道路

町民 県道(牛沢集落入口)周辺の道路脇の枝が邪魔で見通しが悪いので、枝打ちをお願いする。

議会 町で対応するよう伝える。

町からの回答 要望箇所付

近の支障木については、今年夏に県に連絡して対応してもらった箇所もあるので、指摘の箇所がそれ以外の箇所かどうか現地を確認して対応する。

運転代行特区

町民 森岳温泉をよく利用するが最近、運転代行社がなく不便である。報道では特区で自家用タクシーなどを行っているところもあると聞くので、当局に調べてもらい検討してみてもどうか。

議会 当局に伝えることにする。

町からの回答 運転代行特区については、国家戦略特区諮問会議が安倍首相の規制緩和の指示を受け、今年度内に特区内での限定解禁をするため、法改正や省令改正などを行いたいとしている。

三種町内には現在、代行業者が3社、タクシー業者が1社あり

るが、規制緩和により不利益を受ける可能性も考えられる。

今後、国や県等の情報を確認しながら、既存業者の支援方法も含め検討していく。

クアオルト事業

町民 クアオルト事業とは何か。

議会 町民の健康寿命を延ばすための事業であり、医療費削減が最終目標である。

人口減少、定住問題

町民 人口減少、定住についてどう考えるか。

議会 人口減少は、町に就職先が少ないのがその要因と考えられるが、企業誘致となると難しいところがある。

今ある町の企業をどう育てるかが課題であり、企業の支援策を考えている。

小学校の統合

町民 こどもの減少や財政上の問題から小学校の統合を考えなければならない

と思うが、いつごろになるのか。

議会 地域の考え方もあり、時期については検討課題となっている。

町からの回答 年度内に学校の将来のあり方についての意向調査を行う予定である。地域の声を十分に聞いたうえで慎重に対応する必要がある。今後の動向については検討課題となっている。

すいらんの館・金陵の館

町民 すいらんの館は職員がいなくなり利用しにくくなった。鍵を借りに支所まで行かなければならない。なんとかならないか。

また、金陵の館も鍵の管理など利用の仕方が不便になったので、臨時職員を置かなどの改善はできないか。

議会 担当課に検討させる。

町からの回答 両施設の施設管理職員については、料金収納が主な業務であり、コンビニや郵便局での収納が可能となったことから、財政改革の一環として廃止

したところであるのでご理解をお願いする。

ゆめろんの改修工事

町民 ゆめろんの改修工事について各議員の発言を求める。

議会

・結論として、当局の説明不足であるため反対である。
・当局の説明は確かに100パーセントではないが、それよりも町民の立場を優先した。
・1回目は反対した。2回目は賛成したが、当局の説明不足は確かだ。
・当局の説明不足が反対の理由である。
・当初予算は賛成した。その後、入札に対しては、その時々判断で賛否を決めた。

・入札もしていないのに2千500万円を増額するのはおかしい。落札後も説明不足であった。今後の推移を見守る。

町民 説明を聞いて解ったが、2度目の入札をやるべ

きだったと思う。その後地元の業者を育てるのであれば、多少の掛かり増しは仕方がないと思う。

ところで、設計を精査したと言うのが誰が精査したのか。

議会 精査したのは担当課だと思う。

台湾交流事業

町民 台湾交流事業について説明してほしい。

議会 サンドクラフトや人の交流を図ること、三種町の物産のPRなどである。

議員の一般質問

町民 議員の一般質問はいつも同じ人である。

他の議員はなぜ質問をしないのか。

議員をやっている以上、質問をすべきである。

今後は順番制にしてはどうか。

議会 議会としては強要はできない。

一般質問はしないが課へ出向いて質問をしている人もいる。

議案質疑で質問をしている人もいる。

高齢者世帯の除排雪支援

町民 除雪作業について、シルバー人材センターが人材不足で利用できないことがあった。

このようなことがないよう改善してほしい。

議会 シルバー人材センターへ確認し、人材不足を改善するよう伝える。

ゆうばるに無料券発行を

町民 住民の福祉の観点から、ゆうばるの無料券を発行することに力を入れて欲しい。

議会 以前に町に提言したことがあるが、積極的な回答がなかった。

介護保険料

町民 当町の介護保険料は高いのではないか。工夫をして安くなるようにしてほしい。

議会 確かに介護保険料は値上がりしている。当局や関係機関に要望していく。

農地の基盤整備

町民 暗渠事業等の農地施設の整備をもっと進めてほしい。

議会 当局へ伝えることにする。

町からの回答 国の農地耕作条件改善事業等の定額助成を利用し、積極的に進めている。

側溝の蓋の設置

町民 コメリ前の側溝のフタがないが設置できないか。

土地改良区の管理になっているようだが、なんとかならないか。

議会 ずっと以前からの懸案事項だが、フタはだめだと言われている。ガードレールを付けるのも一案ではないか。

街灯

町民 金光寺橋から豊岡までの区間に街灯の設置を。

議会 担当課に伝えることにする。
町からの回答 街灯に関しては自治会で話合っていたが、その結果を基に要望

していただきたい。

空き家解体

町民 集落で空き家解体(所有者死亡等)を申し込んだ場合の査定方法などはどうなるのか。

議会 建物の権利が誰にあるかなど難しい問題もあるが、条例ができたのでこの規定に基づき進めることになる。

TPP問題

町民 TPP合意後の対策について、県などから方針などはあるのか。

議会 今のところ全くないが、いずれ県の方針が決まれば、町として対策を講じる必要があると考えている。

とも補償

町民 減反廃止によるとも補償はどうなるのか。

議会 はっきりと答えできないが、何らかの補償はあると考えられる。

町の広報

町民 町の広報をもっと町民にわかりやすくしてほしい。

議会 担当課に伝えることにする。

町からの回答 町の広報は、町民の皆さんにお知らせしなければならぬ情報を厳選して、わかりやすく、充実した内容になるように、常に、気を配って発行している。

今後は、さらに分かりやすい広報になるよう、また町民に満足していただける広報になるよう努める。

なお、分かりにくい内容や、もっと詳しくお知らせになりたい内容があったら、企画政策課情報統計係に問い合わせしてほしい。

消防防災

町民 金岡地区に防火水槽貯水槽が足りないので増設してほしい。

また、11月〜4月までの水源確保のため、夏場に貯水できる施設を整備してほしい。

議会 担当課に伝えることにする。

町からの回答 消防団山本支団へ状況の把握を依頼しているが、その結果をふまえて改めて検討したい。

町民 冬場の水源確保のため、川までの通路の除雪をしてほしい。

議会 担当課に伝えることにする。

町からの回答 生活道路ではない道は町で除雪できないので、消防水利確保のための除雪は地元消防団へお願いするしかないのが実状である。

その他の質問・意見など

● 農業基盤整備事業とは、どういう事業なのか。

● 米のブランド力の向上について、青森県米の青天の霹靂はおいしかった。当町にも岩川水系米があるので、もっと売り込んでみてはどうか。

● 下岩川小学校改修工事の予算があるが、予算をかけたても子どもが少なく、

いずれ統合される。決断する時期ではないか。

● 統合すれば下岩川がなくなるので、反対である。

● 上岩川の黒森のため池を作れないか。あれば下岩川の田水に干ばつの心配がなくなる。

● ゆめろんの改修工事は、町民のために必要であれば予算は大いに使うべきである。

● 懇談会の開催時期・時間についてもっと検討すべきである。

● 子育て支援事業を無償にして欲しい。

● 合併後に水道料金が高くなった。料金の積算方法を見直して欲しい。

● 雪捨て場所でないところに勝手に捨てている人がいる。地権者と自治会が話し合ったところに捨ててもらいたい。

● 旧山本町の時代に積み立てられた役場をつくるための整備資金1億円が三種町に引き継がれた。それなのに琴丘地域の支所が先にできて山本地区は

後回しになっている。ゆめろんは後回しでも先に作ってほしい。

八竜地域

集会所の整備

町民 集会所の整備計画は三種町全域を対象にしているのか。

議会 全域である。

町民 鶺鴒川地区館の建て替え計画はあるのか。

議会 町の年次計画では、山本公民館↓浜口地区館↓鶺鴒川地区館↓上岩川生活改善センターとなっている。

除雪車

町民 除雪車は今年度購入分を含めて何台あるのか。

議会 除雪ドーザー9台、モーターグレーダー6台、ロータリ除雪車1台、小型ロータリ除雪車2台、ミニロータリ3台である。

町民 浜口地区の小型のロータリ除雪車を貸し出せないか。

いか。
議会 貸し付けできるかどうか確認する。

町からの回答 浜田自治会へ問い合わせたが、他の自治会への貸し出しは考えていないとのことだった。

公債費

町民 町の公債費はいくらあるのか。

議会 合計で約187億円（元金）である。

砂飛び防止

町民 釜谷地区で砂飛びが激しく、砂取りを規制できないか。

議会 松くい虫の被害箇所も含めて考えていく必要がある。

農地基盤整備

町民 農業基盤整備事業に改良区は関係あるのか。

議会 この事業は土地改良区に申請するものだが、土地改良区の管理外の農地については、町へ申請することになっている。

住民との懇談会

町民 前回懇談会を行う意義などについて質問をしたが、議会広報の紙面では内容が簡単になっていた。

また、前回も質問をしたが、議会選挙がなかったため議員の公約がわからない。公開すべきではないか。

議会 議会だよりの紙面の関係でどうしても簡素な内容となってしまうのでご理解いただきたい。

選挙後は議員立候補の公約を載せると選挙違反になる恐れがあるため載せることができなかった。

安保関連法案に関する請願

町民 安保関連法案に関する請願が継続審査になったが、採択すべきではなかったのか。

議会 この請願は、総務常任委員会に付託され委員会では継続審査にしたが、本会議で再審査の動議が出され採決の結果否決となったものである。

平成28年度予算

町民 来年度予算について議員の考えは。

議会 新年度予算はまだ当局から示されていないが、町は「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、5年間の地方創生事業に取組もうとしている。皆様からも町づくりの提言があれば出していただきたい。

養豚場の悪臭

町民 大口地区と浜田地区の養豚場の悪臭がひどい。何とかならないか。町に再三言っているが解決しない。
議会 町に現状確認を求めることにする。

町からの回答 悪臭の防止については、これまでも北部家畜保健衛生所や能代保健所とともに指導してきているが、今後も悪臭測定を定期的に実施し、関係機関と連携しながら会社側にも細心の注意を払い業務にあたるよう指導して行く。

町合併10周年

町民 合併10周年になるが総括するののか。

それを町民に知らせるのか。

議会 町では10周年記念事業を行うことにしているが、総括等、具体的な対応については、当局に確認する。

町からの回答 来年度は「三種町誕生10周年記念」として各種事業を実施する。10月には記念式典を開催し、功労者表彰や記念映像の放映などを予定している。

また、「三種町合併10周年記念誌」を発行し、全戸配布する予定である。記念誌は、広報みたねに掲載された10年間のさまざまな出来事を編集する予定である。

浜口地区館の改修

町民 浜口地区館は、老朽化して避難所に不都合だと思うので、再考してはどうか。

議会 浜口の地区館の改修は計画はあるものの、いつやるかは不明であるが、早

くできるよう議会からも当局を促したい。

人口減少対策

町民 人口減少が激しくなっている。少しでも減少の速度を緩やかにしようにしなければならぬが、議会も危機感を持って対策を考えてほしい。

議会 若者の流出を止めなければならぬ。

また、地元の企業を支援していくべきであり、そうすることで雇用の増加と人口減少に対する歯止めにつながると思う。

ボランティア活動支援

町民 ボランティア活動をしたい人々を議会でも支援してほしい。

三種町の空き地、耕作放棄地が増えるのは寂しいので、それらをボランティア団体に貸し出すなど考えてはどうか。

議会 議会も先駆的的事业には積極的に支援していく。

砂丘地を農地に

町民 松くい被害が多くなっているが、このまま金をかけ続けて良いのか。思い切って砂丘地を農地に変わるべきではないか。

そのためには総合的に専門家を呼び診断してどうか。また、砂丘農地特区にしてはどうか。

議会 これまでのように松くい虫対策に金をかける必要があるのかという意見には同感するところがある。

国では畑作を重視した政策に力を入れようとしているが、松くい被害地の畑地への転換が、どのような形であれば可能かなど、提言の内容は、将来に向けての検討課題ではないかと思う。

空き家の処理

町民 空き家に入居して、すでに2カ月たっている家屋があるが、前の居住者のこ

みがまだ残っていて、入居した人が困っている。これをどこで処理すべきなのか。
議会 早急に確認するよう

町に要望する。

町からの回答

今回のケースは、使えるものもたくさんあり、大家さんの善意で、使えるものは自由に使っても良いという計らいがあった。また、片づけに際しても捨てるには忍びない物も多く、後日開催されたフリーマーケットに出品し、その収益金を福祉団体に寄付するということも聞いており、その関係で、処理が遅れたものと解釈している。

空き家の活用には、数多い部屋の掃除、大量の用品の廃棄、大型家具の移動などが大変であるという問題があり、入居者だけでは手に負えない現状があるので、シルバー人材センターやNPO法人などを活用することを奨め、速やかに対処できるよう支援する。

子ども議会

町民 子ども議会（小・中学生）ばかりでなく、高校生議会も設けてはどうか。
議会 町の将来を考えれば、

そうすべきだと思う。

舗装工事

町民 浜口公民館前の町道の舗装工事がずさんで、業者によって仕上がりに違いがあるので、しっかり検査するべきである。

議会 建設課に確認することにする。

町からの回答 舗装工事については、施工条件や施工時期により舗装の仕上がり面に影響する場合がありますが、当該現場の工事は検査基準値内であり、検査には合格しているのご理解願いたい。

除雪車の出動

町民 除雪車が頻繁に来るが、本来は雪が降ってから出動するものではないか。

議会 建設課に確認する。

町からの回答 除雪車は、降雪時以外でも地吹雪による吹き溜まり、暖気による路面の轍等、交通に支障をきたす時などにも出動する場合があります。

U字溝の取替え

町民 U字溝の取替え工事は場所によっては経費節約のために、蓋無しでもいいのではないか。

議会 建設課に確認する。

町からの回答 施工場所により蓋なし式か蓋掛け式のどちらかを選択しているが、住宅街などでは将来的な判断で蓋掛け式を採用する場合もある。

小作料の支払手続き

町民 小作料を支払う側の手続きが以前よりむずかしくなった。

議会 琴丘は農業公社で対応するので比較的容易だが、山本地区、八竜地域は個人で手続きをしなければならぬのでそのように感じると思う。

ゆめろん改修工事の入札問題

町民 入札のことで町外の人からも言われたり、笑われたりしている。

本当にゆめろんはできるのか。

議会 当局に説明不足があったことが要因である。

改めて12月に入れば議会に諮られると思う。

町民 町民から見ると、本当にやる気があるのか、と思ってしまう。

議会 1回目は入札を3分割で行ったが、全社辞退で不調に終わった。

2回目の入札は1本化で行い町内の業者が落札をしたが、その間の説明がなかったため、否決になった。当局の説明が不足しているのは間違いない。

町民 新聞記事を見ると、議員は何をしているのかと言いたい。

この事業は進めなければ、町の恥になる。予算オーバーだろうがやると決めた事はやるべきだ。

議会 全指名業者が辞退をしたことがことのはじまりである。否決によって2千500万円がいらなくなったので良いことだと思う。

その他の質問・意見など

- 鵜川地区館の建て替えを早くお願いしたい。
- ゆめろんの改修工事を早期完成してほしい。
- 太陽光発電の普及に努めてもらいたい。
- ゆめろん改修工事の入札の経緯を議会だよりに報告するべき。
- 町のごみ捨て場は有限である。災害用に限定しては。
- 町有財産はどのくらいあってどう活用されているのか。
- 町民の認知症に対する理解が少ない。また、自死する人が多く町では対策は十分か。
- ゆめろんの改修工事が問題になっているようだが、反対の意志を示した議会の皆さんは良くながらばと思っている。今回の問題は、町民から言
- わせれば業者のわがままによるものである。言うべきことは言うべきであり、その姿勢を貫いている議会を評価している。
- 脳ドックやメロン畑土壌消毒助成はありがたいと思っている。
- 最近町の職員の対応が良くなっている。



浜口地区館

三種の星

～直売所シリーズ～



ドラゴンフレッシュセンター



まごころの会
会長 三浦久美子

農家に嫁いだ頃は、地域の交流も少なく、毎日家と畑を往復するだけの寂しい職業だと思ったこともあります。直売所で農産物を販売するようになり、女性の仲間が沢山でき楽しい農業に変わったのは、私だけではないと思います。

ドラゴンフレッシュセンターは、女性106名の会員で運営しています。

平成26年には、店内を広げ加工施設も建てお惣菜作りを始めました。自分達が育てた野菜を使い、加工し販売しています。

普段は、家族の陰で目立たないお母さん達ですが、直売所では女性が主役です。

毎朝、お母さん達の元気な声で店内は活気に満ち溢れ大賑わいとなります。

会員の年齢は30歳代から80歳代と幅広く、いろいろなアイデアが商品になります。さすが！お母さん！と感心させられます。

季節の商品も春の野菜苗、夏のメロン、秋の干し大根、冬のアスパラガス、根菜類と年中野菜は豊富に揃っています。

当番制でレジ係りもあり、お母さん達が直接消費者と会話できる良い機会になっています。

年に一度の研修旅行は、お母さん達の楽しみの一つで、自分達にご褒美の時です。

ドラゴンフレッシュセンターは、いつも元気いっぱい輝いているお母さん達の直売所です。

これからも、安全でおいしい野菜の販売に努力し、お客様にずっと好感のもたれる直売所を目指して頑張ります。

直売施設グリーンぴあ

～頑張ってます～

冬場の野菜不足を補うため年間計画を話し合い、会員各自が独自の野菜を出すようになり、新鮮野菜がとぎれることなく、年々、品目も増えています。

昨年、町より「加工所」を建てて頂き、加工品による新たな商品をお客様に提供できるようになりました。加工所を併設することで販路が広がり、売り上げ増にも結びつくので、琴丘地域ならではの献立にするため、地元の野菜の美味しさを今一度アピールするおかず作りを目標にしています。

お客様に「また食べたい」とリピーターが増えてくれるよう“お弁当”に力を入れており、おかずは日替わりとなるように献立を工夫しています。

～取り組んでいます～

秋田の冬は季節色豊かな食べ物が多い中、きりたんぼ・餅・漬物・干し柿・干し餅と琴丘ならではの商品の他、お客様から好評頂いているドラ焼き・ラスク・大福等、手作りお菓子も取り揃えています。ベテランから若手まで研究熱心な会員が試行錯誤をくり返し、買って頂ける物作りに励んでいます。

～目玉商品があります～

新鮮で安い野菜に、こだわった手作り加工品と工芸品、年中だしている漬物と春の山菜・塩漬けと干した山菜など、ご紹介したい物が沢山あるので、道の駅ことおか『直売施設グリーンぴあ』に直接足を運んで、ご自分の目で見て頂きたく、どうぞお立ち寄りください。

お待ち申し上げております。



グリーンメッセ縄文
会長 藤原 トモ

編集後記

暖冬の中、つつがなく新春を迎え皆様にはお健やかに過ごしていただくことを存じます。

今年の暖冬はエルニニョ現象が関係しているみたいですが、暖冬でも大雪が降る場合もあるので注意してください。さて、紙面にも掲載されていますが、町民と議会との懇談会が2回目を終えそれぞれ各地域の課題、要望が浮き彫りになりました。

出身地域外の町民の方々とひざを交えお話を聞くのも、刺激的でよい勉強になりました。狭いようで広い三種町、住みよい安心安全な町づくりのため、町民と議員が話し合うよい機会だったと思います。今後の開催は未定ですが継続できればと思っています。最後に是非、議会の傍聴においでください。

石井 秀基 記